

「西田先生が議員在職中に一番成し遂げたい仕事は何ですか？」

平成 28 年 10 月 18 日

●ずんどこさんからの質問

いきなりズバッと聞きたいと思います。西田先生が議員在職中に一番成し遂げたい仕事は何ですか？既出だったらすみません。

●西田昌司の答え

当面の目標は新幹線ネットワークの構築ですが、私が参議院議員に立候補した一番の動機は、敗戦後の GHQ による占領体制を総括して日本の背骨を取り戻したいということにつきます。

戦後の占領中に日本は、国の形・法律の仕組み・価値観といったものを根本から変えられてしまいました。その典型が現行憲法なのですが、多くの日本人がこういったことを全く知らずに戦後 70 年以上もの月日が経過してしまいました。

この（政治家も含む）国民の無理解からくる政治の齟齬があちこちに見られます。昨年、平和安全法制国会では法案に反対する野党側の議員がパフォーマンスを繰り広げて、法案についてのまともな議論もできませんでした。国会での憲法改正についての議論についても然りです。

私は戦後の占領体制の真実を国民に伝える努力を続けてきましたし、日本が独立国としてまともな国に戻れるようこれからも粘り強く訴えていくつもりです。

その他にも、この 30 年間に渡ってやり続けられている、小さな政府を目

指す構造改革といった間違った経済政策の方向転換を是非とも在職中に成し遂げたいと思っています。

戦後の占領体制といい、構造改革といい、日本人は物事を一旦決めてしまおうとそのまま突き進んでいく傾向がありますし、過去を振り返って何が間違っていたのかと総括することが残念ながらできない人種だと思います。

孟子の中に「君子必ず自ら反するなり」という言葉がありますが、我々は（明治維新をも含めた長いスパンで）日本の歴史を素直に振り返って問い直さなければなりません。

反訳：ウッキーさん

Copyright：週刊西田 <http://www.shukannishida.jp>